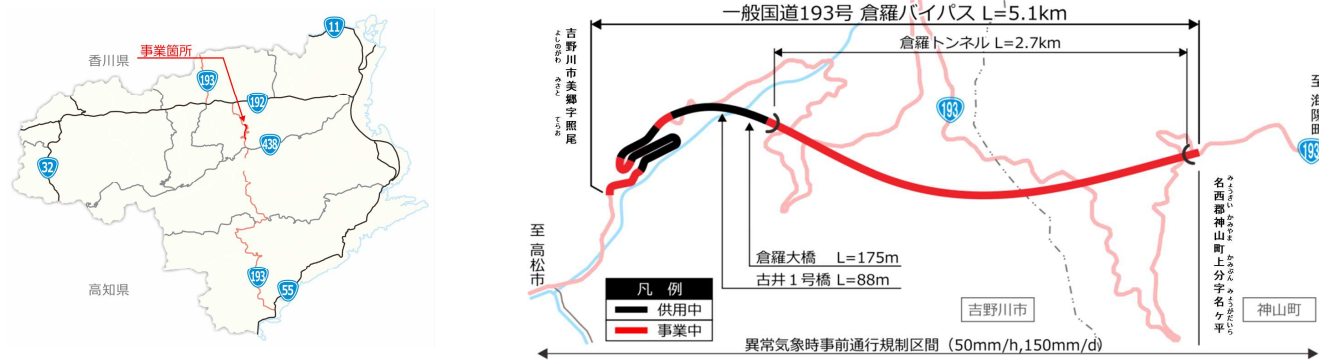


再評価結果（令和3年度）

担当課：道路整備課
担当課長名：清水 勝也

事業名	一般国道193号 倉羅工区	事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県 吉野川市 美郷字 照尾 至：徳島県 名西郡 神山町 上分字 名ヶ平	延長	5.1km		
事業概要 一般国道193号は、香川県高松市から徳島県海部郡海陽町に至る延長159kmの幹線道路であり、沿線地域を相互に結び、地域の生活・産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての役割を担う重要な路線である。 当事業は、「幅員狭小及び線形不良の隘路区間」を解消し、円滑な交通の確保を目的とした延長5.1kmの改良事業である。					
H4年度事業化		H4年度用地着手		H4年度工事着工	
全体事業費	111億円	事業進捗率	約52%	供用済延長	0.83km
計画交通量	600台/日				
費用対効果分析結果(現拡+BP)	B/C(事業全体) 0.7 B/C(残事業) 2.6	総費用(残事業/事業全体) 事業費: 37.1/146.9億円 維持管理費: 1.0/ 1.3億円	総便益(残事業/事業全体) 走行時間短縮便益: 88.8/91.0億円 走行経費減少便益: 7.4/ 7.0億円 交通事故減少便益: 0.7/ 0.6億円	基準年: 令和3年度	
感度分析の結果	【事業全体】交通量: B/C=0.60~0.74(交通量±10%) 事業費: B/C=0.65~0.69(事業費±10%) 事業期間: B/C=0.64~0.71(事業期間±1年)		【残事業】交通量: B/C=2.35~2.87(交通量±10%) 事業費: B/C=2.38~2.89(事業費±10%) 事業期間: B/C=2.48~2.69(事業期間±1年)		
事業の効果等 ■ 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間の解消） ■ 災害への備え（緊急輸送道路の整備） ■ 安全で安心できる暮らしの確保（災害拠点病院（救急対応医療機関）へのアクセス向上）					
関係する地方公共団体等の意見 ■ 以前より、「四国横断線改良促進期成同盟会」及び「国道193号倉羅トンネル開さく促進期成同盟会」において倉羅バイパスの早期整備が強く要望されている。					
前回再評価時より今回再評価実施までの周辺環境変化等 ■ 令和3年5月に吉野川市美郷地区で「中山間地域交流拠点施設（たねのや）」がオープンした。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ■ 令和2年度までの供用区間は全延長5.1kmのうち約0.8km(完成区間約1.2km)。 ■ 残事業は一部現道拡幅区間とトンネルの取り合い部を含むバイパス部の約3.9km。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ■ 現道拡幅区間における地すべり発生のため、対策工等の実施に時間を要した。 ■ 現道拡幅区間の整備推進を図る。					
施工の構造や工法の変更等 ■ 整備効果を早期に発現するため、現道拡幅区間について、工区毎に部分供用する。 ■ コスト縮減のため、建設発生土を有効利用し現道拡幅工事を実施する。					
対応方針	事業継続				
対応方針の決定理由	■ 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。				
事業概要図 					

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。